

作成日令和7年5月7日
(最終更新日令和7年5月14日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号： 5220 (承認済 4524 の変更)

課題名：防衛医科大学校病院歯科口腔外科における顎顔面外傷に関する実態調査

1. 研究の対象

平成22年1月から令和7年4月において当科で治療した顎顔面外傷患者

2. 研究期間

学校長承認日 ～ 令和10年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：令和2年2月15日

提供開始予定日：該当なし

4. 研究目的

顎顔面外傷の受傷原因、部位は多岐にわたり、不適切な対応により後遺障害・死亡する危険性があります。この実態調査で得られる成果をもとに、顎顔面外傷の増悪因子を抽出し適切な治療方法検討の資と致します。

5. 研究方法

当科受診患者のカルテ情報に基づいて、診断名、基礎疾患、骨折部位、検査データ、使用抗菌薬、使用材料、治療期間等について後方視的調査を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

口腔顎顔面外傷患者の年齢、性別、受傷機転、受傷部位、診断名、顎顔面骨骨折の状態、入院期間、治療方法、予防抗菌薬の使用法、感染の有無、後遺障害等

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本校単独研究

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は講座研究費です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院歯科口腔外科 平田 洋介

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 3095）電話対応時間 9 時から 16 時

hirata@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院歯科口腔外科 平田 洋介